



# 御成門だより

令和2年5月11日 発行

第 2 号

発行責任者

港区立御成門中学校

校長 佐藤 太

## 教育目標

「豊かな心とたくましい体をもつ生徒」「自ら計画し進んで学習する生徒」「他人の立場を尊重し仲良く協力できる生徒」

〒105-0003 港区西新橋 3-25-30 電話 03-3436-3551 FAX03-3436-3552 E-Mail onarimon-js@minato-ky. ed. jp

## 生きる <詩人・谷川俊太郎>

校長 佐藤 太

風薫る5月。皆さんお元気ですか。私は、仕事や生活に気をつけ、元気に日々を送っています。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の延長により休校も延長となりました。大変な日々が続きますが、皆さんも生活と学習のリズムを作り、安全を保って適度な運動も忘れずに、元気に過ごしてください。

私は、このゴールデンウィーク（ステイホーム週間）に、自宅の窓から新緑の映えた外を眺めて時間を過ごしていると、ふと詩人・谷川俊太郎さんの詩「生きる」の冒頭のフレーズが湧き出てきました。

この詩は、私が社会人になってから出会った詩なのですが、それから私は、人生の時々の中で、私なりの「生きる」の詩を自分の心に創ってきたように思います（世間で言う替え歌のようなものですね）。

◆ 今回は、皆さんに谷川俊太郎さんの詩「生きる」の原文を紹介します。

生きているということ  
 いま生きているということ  
 それはのどがかわくということ  
 日がまぶしいということ  
 ふっと或るメロディを思い出すということ  
 くしゃみをする事  
  
 あなたと手をつなぐこと  
  
 生きているということ  
 いま生きているということ  
 それはミニスカート  
 それはプラネタリウム  
 それはヨハン・シュトラウス  
 それはピカソ  
 それはアルプス  
 すべての美しいものに出会うということ  
  
 そして かくされた悪を注意深くこぼむこと  
  
 生きているということ  
 いま生きているということ  
 泣けるということ  
 笑えるということ  
 怒れるということ  
 自由ということ

生きているということ  
 いま生きているといこと  
  
 いま遠くで犬が吠えるということ  
 いま地球が廻っているということ  
 いまどこかで産声があがるということ  
 いまどこかで兵士が傷つくということ  
 いまぶんこがゆれているということ  
  
 いま いまがすぎてゆくこと  
  
 生きているということ  
 いま生きてるということ  
 鳥は はばたくということ  
 海は とどろくということ  
 かたつむりは はうということ  
  
 人は 愛するということ  
  
 あなたの手のぬくみ  
 いのちということ

この詩は、皆さんの心に、どのように響きますか。これまでの当たり前のように過ごしてきた日常生活と現在の生活では隔世の感がありますが、皆さんは、これまで生きてきた経験の中で、感じていた「生きる」をどう捉えていましたか。そして、休校中の今、あなた自身は「生きる」をどう感じていますか。

私は、一年後皆さんに、皆さん自身が実感したその時の「生きる」の言葉を聞いてみたいと思います。いずれにしても、私は“皆さん一人一人が、今を、毎日、一生懸命に生きてほしい”と願っています。

保護者の皆様、休校期間の継続で、ご自宅でのご協力も続く事になりますが、よろしくお願ひいたします。休校中のお子様のことや学習・生活でご心配な点や不明な点がありましたら、学校にご連絡・ご相談ください。まだ先が見えにくい状況ではありますが、学校再開に向けて教職員一同、しっかり準備してまいります。

## 【令和2年度 転入教職員挨拶】

### ○成田修平 [数学] (狛江市立狛江第二中学校より)

今年度よりこの御成門中学校の一員となりました、数学科の成田修平です。教員になって初めての異動で、こちらに着任いたしました。数学を学習することはもちろん、仲間と協力して1つのことに取り組むことの楽しさを生徒に伝えたいと思っています。よろしくお願いします。前任校は狛江市立狛江第二中学校です。学校がある狛江市は日本で2番目に小さい市で、豊かな自然に恵まれた街です。狛江ののびのびとした雰囲気と生徒の活気にあふれる学校でした。

私が前任校で教員を始めたのは、9年前の2011年の4月。東日本大震災から間もない頃です。東京でも余震があったり、原発の問題や、電力不足にともなう計画停電が行われたりと、この先日本はどうなっていくのだろうと不安が大きい中で、教員としての一歩を踏み出したことをよく覚えています。

そして今年度は、コロナの影響で休校が続く中でのスタートとなりました。日本だけでなく世界中が混乱し、今後の見通しがなかなか立てられない状況ですが、一日も早く生徒とともに笑顔で過ごす日々を心待ちにしています。

### ○成田桃花 [数学] (新規採用)

4月から新規採用で御成門中学校に参りました、成田桃花と申します。数学を担当します。

数学が好きだと思い始めたのは中学生の頃でした。始めは、自分で答えが求められたことや、丸がついたことに嬉しさや楽しさがありました。そして、公式の成り立ち方を理解したり、解き方には様々な方法があることを知ったりすることで、数学の魅力を感じました。問題に対して様々な考えや疑問をもってほしい、そして、皆さんにも数学に対して何かを感じてほしいという思いで頑張っています。さらに、新体操にも夢中でした。団体チームとして活動していく中で、仲間と一緒に努力して達成感を感じました。また、小中高と続け、コーチの経験もしました。これら経験を活かし、部活動指導にも励んでいきます。

先が見えない大変な状況が続きますが、子どもたちの学校生活を支えていきます。そして、ともに成長していきたいと思っています。よろしくお願いします。

### ○内田琢也 [技術] (小金井市立緑中学校より)

本年度、御成門中学校へ異動してきました内田琢也です。担当教科は「技術・家庭科」技術分野、担当学年は2学年です。

技術の授業では、生活の中で役に立つ事柄や最新のテクノロジーと今後の展望を中心に、実技(実習)を交えながら進めていく予定です。私の授業目標は「楽しくて、ためになる」授業です。そのためには皆さんの協力が不可欠です。気になるニュースや新技術・伝統技術があれば、どんどん声をかけてください。私からも質問することがあると思います。その時にはやさしく教えてくれると嬉しいです。一緒に楽しい授業を作り上げていきましょう。

学習に関することはもちろん、授業・学習以外の相談

や雑談も大歓迎です。ちなみに趣味は読書・ゲーム・TV・映画鑑賞・ものづくり・カメラ・自動車・パソコンなどです。皆さんとおすすめの作品や趣味の話ができることを楽しみにしています。1年間、よろしくお願いいたします。

### ○兼平真澄 [難聴学級] (町田市立南成瀬中学校より)

はじめまして、兼平真澄と申します。今年度開設された難聴学級を担当します。どうぞよろしくお願いいたします。ダンスやお笑いを見るのが好きです。御成門中学校にはダンス部があると聞きました。皆さんのダンスを見られる日を楽しみにしています。小学校では器械体操とヨガ、中学校・高校ではテニスに情熱を燃やす青春時代を過ごしていました。足は遅いけど体を動かすことが大好きな健康優良児でした。

中学生の時に「夢は何か？」と聞かれてとても困った覚えがあります。友達のことや進路のことなどを考えるので精一杯だった気がします。夢より不安の方が大きい悩み多き中学生でした。初めて洋画(英語の映画)を見て、外国の生活に憧れた時期でもあります。大人になって初めて海外旅行をした時、下手な英語でも通じたのが嬉しくて、その後海外で生活をしたり、英語を使った仕事をしたりすることになりました。失敗や挫折は数え切れませんが、好きなことで道ができていくものだと実感しています。大学生の時に耳の聞こえない友達ができることがきっかけで手話を学び、教員になってからずっと希望していた難聴学級で働くことができるようになりました。

今はまだ夢は見つかっていない人も、その時目の前にある事や好きな事を一生懸命やることで、自分の道ができていくと思います。中学校ではどンドン失敗して自分の道を見つけて下さいね。

### ○勝山千恵子 [事務主事] (文京区立本郷台中学校より)

はじめまして。4月1日に着任しました、事務の勝山千恵子と申します。前任校は、文京区立本郷台中学校です。3月末に、引き継ぎのため初めて御成門中に伺ったとき、御成門駅から地上に出ると、周りはオフィスビルばかり。「どこに学校があるんだろう？」と、キョロキョロしてしまいました。前任校のある本郷三丁目もオフィス街ですが、小さな商店やマンションもあり、学校周辺の雰囲気の違いに驚きました。そして、予想以上に近くに見える東京タワー。昨今はスカイツリーの方が人気ようですが、改めて「綺麗だな」と思いました。

着任後は、新しい仕事を覚えるのに必死の毎日です。仕事の進め方が前任校と違うところが色々ありますので、教職員の方々に助けていただきながら、仕事を覚えたいと思っています。生徒の皆さんとは、始業式の際にしかお会いしていませんが、皆さんが「普通に」学校に来られる日が一日も早く来ることを願っています。そして、皆さんが楽しく学校生活を送れるよう、努力する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。  
※学校より4月号において、成田桃花教諭の氏名の誤りと転入・転出職員紹介欄への記載もれがありました。ここに訂正いたします。(紙面の都合で副校長挨拶文は、6月号に掲載します。)

